

「 皆既月食 」

一昨日は皆既月食でした。

名谷駅前のパティオの広場で空を見上げ、どんどん細くなる月を眺めていました。地球を天体として認識できる機会は滅多にありません。月の欠けていくスピードの早さに、地球が動いていることを実感しました。

ところで2年前の金環日食は、ちょうど朝の観察しやすい時間帯でしたが、皆さんは観察されましたか？

北須磨高校ではその日食時に、当時の1年生つまり今の3年生全員に観察を呼びかけ、その情報を元に金環日食と部分日食の限界線を探しました。

最大食時に、日食メガネを通して皆既日食か部分日食かを観察しました。今は携帯電話で簡単に位置を調べることができ、東経と北緯がすぐに判明します。それらを使い、地点毎に観察結果を書き入れると境目が線となって現れてきました。

240人の情報を使っての大実験だったわけですから、貴重なデータです。

この観察結果は、兵庫県高等学校教育研究会科学部会の研究発表大会で発表され、データは明石市立天文科学館に送られ、日本天文学会での発表にも使われました。

今年ノーベル物理学賞に日本人3人の受賞が決まり、科学に関心が高まっています。ぜひ身の回りのいろいろな現象に関心を持ち、なぜそうなっているのかに疑問を持ってみてください。TV番組でのことばではありませんが、「やってみなければ分からない。」この気持ちを持って欲しいと思います。

次に皆既日食が見られるのは、2030年6月の北海道だそうです。その時、皆さんはどこで何をされているのでしょうか。一人一人がそれぞれの場所で、地域をひいては世界を相手にお仕事をされていると思います。是非その時には、北須磨高校での大実験を思い出して欲しいものです。最後に、一緒に観察した3人の女子生徒さん、長時間つきあって頂いてありがとうございます。とても楽しい時間を過ごせました。